

2020年1月6日

株式会社幸楽苑ホールディングス

## 幸楽苑は抜本的構造改革を推進 「収益重視型経営」(プロフィット・ドリブン)を加速させ 収益率向上による筋肉質な経営を目指す

株式会社幸楽苑ホールディングス(本社:福島県郡山市、代表取締役社長:新井田 昇 ※以下 幸楽苑)は、中期経営計画の目標を達成するため、「収益重視型経営」(プロフィット・ドリブン)を加速させ収益率の更なる向上を図り、筋肉質な経営を目指してまいります。

### 1. 抜本的構造改革に伴う低収益店舗閉店について

この度、抜本的構造改革に伴う低収益店舗の閉店を実施いたします。

2019年5月24日公表の中期経営計画の目標を達成するため、低収益店舗の閉店や業態転換を通して、「収益重視型経営」(プロフィット・ドリブン)へ加速度的にシフトし、お客様、株主様に貢献できる会社を目指します。台風19号の被災により、更なる利益率向上を目指し、抜本的構造改革を加速していく方針です。

この台風19号の水害により、郡山工場が操業停止し、約250店舗への食材供給がストップしたという経験を踏まえ、いかなる局面でも利益を確保しうる利益体質の構築を推し進めることといたしました。

2019年12月~2020年4月までに低収益店舗51店舗の閉店や業態転換を行い、高収益店舗への人材配置、労務環境の改善、ひいては働き方改革を推進いたします。本閉店は、人手不足という業界を超えた課題へのひとつのソリューションとして位置付けており、更に、カニバリゼーションの解消による全体収益率の向上、物流網の見直しによるトータルコストの圧縮等、当社の抜本的構造改革の足がかりとなる施策であります。本件を起点に、「収益重視型経営」(プロフィット・ドリブン)への改革を今後もスピーディに進めていく方針です。

### 2. 閉店予定(計:51店舗)

2019年12月	30店舗(東北2店舗、関東6店舗、北陸甲信越1店舗、東海21店舗)
2020年1月	7店舗(東北1店舗、関東2店舗、東海4店舗)
2020年2月	12店舗(東北2店舗、関東5店舗、東海2店舗、関西3店舗)
2020年3月	1店舗(関東1店舗)
2020年4月	1店舗(関西1店舗)

今回閉店する店舗への長きに渡るご愛顧に、心より御礼を申し上げます。  
お客様には大変ご不便をお掛けいたしますが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

《 本件に関するお問い合わせ先 》

株式会社幸楽苑ホールディングス 広報マーケティング部 鈴木・澤村  
電話:024-983-5621 e-mail:kouhou@kourakuen.co.jp